**East Japan Championship 2016**

**競技規定、ローカルルール**

1．公認

本大会はJHFハンググライダー･ルールブックにより実施するものである。

万一､本大会規定､競技規定、およびエリアルールに不備のあった場合は、JHFハンググライダー・ルールブックに準ずるものとする。

2．GPSの使用

１）GPSによるフライト記録はJHFルールブックの規定に従う

２）GPSによる採点はJHFルールブックに規定による

3．タスクコミッティー・セーフティーコミッティー

選手の代表によるタスクコミッティー2名およびセーフティーコミッティー2名を設置する。

4．タスクの発表

タスクは競技開始前のブリーフィングで競技委員長が発表及び掲示する

発表する項目は、大会名、タスク、実施日、タイプ、旋回方向、、、テイクオフオープン、テイクオフク ローズ、スタートゲート、スタート回数、スタートインターバル、ターンポイント：ウェイポイント名、シリンダー半径、タスク間距離、スタート方式（ENTRY/ EXIT）、ESSのシリンダー半径、タスク総距離など、タスクフィニッシュタイム、ランディング報告締め切り、タスクレ ポート締め切り、デジタル無線周波数、GAPパラメーター、本部電話番号、とする。

5．ミニマム距離

競技成立のミニマム距離は6000mとする。

6．タスク距離

タスク設定はタスクコミッティーにて設定し競技委員長が決定する。

7．競技時間

選手はテイクオフオープンからテイクオフク ローズの間にテイクオフし競技を開始する、尚、テイクオフオープン以前及びテイクオフク ローズ以降の競技フライトはできない。ゲートは選手が安全にテイクオフできる場合に限りオープンとする。

8．競技受付

大会本部受付にて初日7時30分、2日目より8時から受付開始する。

9．テイクオフ法

1）セットアップゾーン

受付において、大会初日はハンググライディングシリーズランキング順にセットアップ場所を決める。2日目からは上位の選手から、以下順位によってセットアップゾーンを決定する、同順位はゼッケン番号順とする。受付け時間に遅刻した選手は、優先順位を放棄したものとする。但し、競技時間等の都合からセットアップゾーンを予め大会本部より指定する場合もある。

2）機体のセットアップ

受付後、役員の指示に従い山頂へ移動　役員の指示があるまでセットアップをしてはならない。

指示後セットアップを終えた機体は、指定された場所に整然と並べスタンバイゾーンヘの通路を空けておくこと。

3）テイクオフ

東風はコンクリートランチャーとランチャー台、役員判断による南斜面を使用し、西風は西ランチャーを使用し、フリーテイクオフとする

4）スタンバイゾーン

選手はスタンバイゾーンを通りテイクオフゾーンに入ること。但し、スタンバイゾーンより前の選手についてはこの限りでない。スタンバイゾーンの定員は各ランチャーに対して3名とし、全員がテイクオ フを拒否した場合は待機できるが定員をオーバーした場合、順次テイクオフゾーンに進まなければならない。スタンバイゾーンの合流点では交互進入とする。

5）テイクオフゾーン

テイクオフゾーンは各テイクオフ定員1名とし、テイクオフゾーンに複数がいなければテイクオフゾーン内であっても待機することができる。但し複数になった時から2分以内にテイクオフしなければならない

6）その他

２箇所で構成されているテイクオフの構造上、基本は交互にするが一方のテイクオフをクローズする事がある。また同様の理由で、優先するテイクオフを定める場合があり、その際はテイクオフ役員の判断を優先する。

スタンバイゾーン、テイクオフゾーンに入ってからのキャンセルは移動できれば可能であるが、列の最後尾に廻ること。

10．スタート方法

スタート方法はシリンダー方式によるインターバルエアスタートとする。また、エア同時スタートを採用する事もある。

11．リフライト

1）リフライトは何度行っても良いが、その競技の最終フライトが得点対象となる。

2）リフライトする場合はテイクオフ前にGPSトラックログを消去する事。

3）リフライト時には、大会本部およびテイクオフ役員にその旨を申告する事。

4）セットアップ場所についてはテイクオフ役員の指示に従う。

12．ゴール方法

ゴールはGPS上の仮想ゴールライン又はゴールシリンダーとする。ゴールにはゴール役員を置き、ゴールの確認を行う。

ゴールした選手はランディング後ゴール役員に自己申告すること。

13．ランディング

１）エリアのランディング場および当日発表されたランディング場をオフィシャルランディング場とし、それ以外はアウトサイドランディングとする。

２）山沈・スタ沈ともにアウトサイドランディングとする。

３）アウトサイドランディングした場合、大会本部へ報告をしローカルルール規定に従い処理すること。（大会当日までにローカルルール規定をお知らせします。）

14．競技終了報告

その日の競技参加受付を行った選手は、ランディング報告締め切りまでに自分が安全に着陸あるいはフライトキャンセルしたことを電話または口頭で大会本部に報告する事

15．タスクレポート（フライトレポート）の提出

1）その日の競技参加受付を行ったすべての選手は、フライトの如何にかかわらずタスクレポート及びGPSの提出を行わなければならない。ただし、当日競技が本部によりキャンセルされた場合はこの限りではない。

2）その日の競技フライトをした選手はGPS及び所定の用紙を大会本部へ提出しなければならない。

16．時間の計測

1）飛行時間はスタートからゴールまでを計測し秒単位とする

2）スタート時間はインターバルエアスタート時間を採用する

3）GPS上のゴールシリンダーの場合ゴール時間はGPS上の仮想ゴールライン又はゴールシリンダーに入った時間とする

17．距離の測定

１）ゴールした選手の距離はテイクオフから各指定ターンポイント間､そしてゴールまでを加算した距離とする。

２）タスクを消化できずにメインランディング及びミニマム距離を越えてアウトサイドランディングした選手の距離は、確認された最後のターンポイントまでの距離に次のターンポイントを結ぶ直線距離から、次のターンポイントからベストポジションまでの直線距離を引いたものを加えた距離とする。

18．得点計算・減点方法

得点計算はJHFルールブックの定めに従って、GAP2014スコアリングシステムにて行う。集計ソフト及びセクターの判定は「FS」及びそのバージョンアップソフトを使用する。

大会規定・競技規定・エリアルールに反する危険行為等を行った選手には大会が定める減点を受ける場合がある。

19．回収

基本的に自己回収とする。